

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度第1回高松市美術館協議会
開催日時	令和3年7月6日（火）13時30分～15時00分
議題	(1) 会長及び副会長の互選について (2) 令和2年度事業報告について (3) 令和3年度事業計画について (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	毛利委員、古川委員、岡委員、竹中委員、田野委員、中村(光)委員、Page委員、品地委員、三井委員、金川委員、佐々木委員、中村(涼)委員
傍聴者	0 人（定員 5人）
担当課及び連絡先	美術館美術課業務第二係 823-1711

### 会議の経過及び結果

**【開会】**

局 長    —あいさつ—  
 事 務 局  委員紹介  
           事務局職員紹介  
 事 務 局  委員出席者数による会議の成立を報告  
           会議の公開についての了承を求める  
 全 委 員  同意

**【議題（1）会長及び副会長の互選について】**

委 員    会長に毛利委員、副会長に古川委員を推薦  
 全 委 員  同意

**【議題（2）令和2年度事業報告について】及び【議題（3）令和3年度事業計画について】**

事 務 局  資料に沿って事業の実施内容等及び事業計画を説明

会議の経過及び結果

委員 SNSを利用した新しい取り組みが見られるが、外国への発信方法について質問

事務局 美術館のホームページには外国語表記があり、また、SNSについては想定以上の反応があり、デジタルとリアルを繋ぐことにより、来館してもらえるよう情報発信すると回答

委員 昨年の野口哲哉展のような若手アーティストの展示を要望  
美術館事業において、漆芸を身近に感じてもらうため香川県漆芸研究所の若手メンバーによるワークショップを要望  
人間国宝等工芸展を要望

事務局 アニュアル展やコレクション+で若手作家を積極的に取り上げ、今後も様々な作家に興味をもってもらえるようなワークショップ等を実施していくと回答  
漆芸研究所と連携していくと回答

委員 作品だけではなく、制作過程・作者の生き方や背景について展示で見せていくことを要望

事務局 ギャラリートーク及びポケット学芸員等の取組みを実施しているが、アーカイブ化も重要視していくと回答

委員 メディアに高松市美術館を定期的に紹介することを要望

事務局 メディアを積極的・効果的に活用していくと回答

会長 教育委員会からの諮問について、「令和2年度事業報告について」及び「令和3年度事業計画について」集約した意見を付して答申することに了承を求める

全委員 同意

【議題（4）その他】

事務局 博物館自己点検システムについて説明  
開催中の常設展の案内及び事務連絡

委員 高松市美術館の自己点検システムの結果について、調査研究の項目が平均値なのでもっと点数をあげることを要望

会議の経過及び結果

コロナの影響で海外へ行けない学生達と接点を持つことを要望

事務局 自己点検システムの調査研究について、有効な方法を検討すると回答  
効果的な情報発信の場の提供について検討すると回答

委員 自己点検システムの結果について、高松市美術館と塩江美術館が類似した傾向  
があるので、改善していくことを要望

事務局 他の公立美術館と連携して、研修等実施を検討と回答

委員 香川県立ミュージアム等と連携を要望  
親子で参加できるワークショップを要望

委員 赤ちゃんが騒がしく見てもよい自由に観覧できる時間帯設定等を要望  
SNS利用において、インフルエンサーが拡散するような内容の発信を要望

事務局 更なるSNSの内容充実をはかると回答  
こども+において、さらに親子で参加できるワークショップ等の提供を検討す  
ると回答

事務局 開催中の常設展の案内及び事務連絡

会長 ー閉会ー